

## 平成26年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会

- 1 日 時 平成26年11月6日(木) 19時から21時まで
- 2 会 場 調布市文化会館たづくり10階 1001学習室  
(調布市小島町2丁目33番地1)
- 3 出席者 市 民 5人  
事務局 9人  
調布市：仁藤文化振興課長、生野生涯学習交流推進課長  
財 団：吉田常務理事、土方事務局長、神戸総務課長、  
徳永コミュニケーション課長兼たづくり事業課長、  
土井総務課財務係長、渡部総務課施設管理係長、  
高橋総務課総務係主任

### 4 資 料

平成26年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会(平成26年11月6日)要望事項対応表【平成26年10月20日現在版】

### 《会議録》

- 1 開会
- 2 財団あいさつ 吉田常務理事
- 3 出席者紹介 調布市及び財団出席者の紹介
- 4 連絡事項 発言者の注意事項等

#### ○神戸総務課長

それでは、ただいまから平成26年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会を開会いたします。進行は、お手元に配付した利用者懇談会の次第に沿って進めます。

本日の配付資料の確認いたします。まず、利用者懇談会の次第です。そして、平成26年度第2回たづくり・グリーンホール利用者懇談会要望事項等対応表、そして机上に出席者票の3点になります。ご確認ください。

続いて、次第の2、財団あいさつです。常務理事の吉田からごあいさつ申し上げます。

○吉田常務理事

皆さん、こんばんは。常務理事の吉田です。本日、大変お忙しい中、今年度2回目となります利用者懇談会にご参加いただきまして、ありがとうございます。

現在、調布市では、調布市民文化祭が行われているところでございますが、土曜日、日曜日には、この文化会館たづくりのエントランスホール、あるいはグリーンホール等で笑顔が交わされ、またいろいろな方が立ち話をしている、そんな光景をみることができます。大変いい光景だと思っております。

市民文化祭は、調布市の場合、1か月間に渡って行われています。いろいろな自治体がありますが、恐らく、これほど長く市民文化祭が行われている市は全国にもそうないのではないかと思っております。

また、同時に、市内各公民館でも地域文化祭が行われ、全市的にたくさんの方々が生涯学習をしているということでございます。調布市というのは市民文化の裾野が広く、また学習意欲の高い方たちが多いまちだと感じております。それだけに、施設が果たす役割は大変大きなものがあると思っております。この文化会館たづくり、またグリーンホールを管理運営しております私どもとしましても、そのことは常に忘れてはならないことだと思っております。

早いもので、このたづくりも実は来年で開館20年を迎えることとなります。これからは、施設の老朽化等ともたたかっけていかなければならない時期にきていますが、今後も利用者の皆様からいろいろなご意見、またご要望等をいただきながら、より利用しやすい施設を目指すとともに、皆さんの新たなご意見をもとに、様々な改善策のご提案もさせていただきます、魅力的で、かつ市民の皆さんが誇りのもてる施設づくりに務めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は限られた時間でございますが、貴重な意見交換の場としてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○神戸総務課長

それでは、次第に沿い進めさせていただきます。3といたしまして、出席者紹介です。

最初に、調布市側の出席者からご紹介いたします。生活文化スポーツ部文化振興課から仁藤課長でございます。

○仁藤文化振興課長

文化振興課長の仁藤です。よろしくお願ひいたします。

○神戸総務課長

続きまして、同じく生活文化スポーツ部生涯学習交流推進課から生野課長です。

○生野生涯学習交流推進課長

生野です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

次に、私どもコミュニティ振興財団の出席者です。始めに、常務理事の吉田でございます。

○吉田常務理事

改めまして、吉田です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

続きまして、事務局長の土方です。

○土方事務局長

土方です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

続きまして、コミュニケーション課長の徳永です。

○徳永コミュニケーション課長兼たづくり事業課長

徳永です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

続きまして、総務課財務係長の土井です。

○土井総務課財務係長

土井です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

続きまして、総務課施設管理係長の渡部です。

○渡部施設管理係長

渡部です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

続きまして、総務課総務係主任の高橋です。

○高橋総務係主任

高橋です。よろしくお願いいたします。

○神戸総務課長

最後に、本日進行を務めます私、総務課長の神戸でございます。

以上、どうぞよろしく願い申しあげます。

○F

提案ですが、遅れて来られる方もいるかもしれないので、ドアをあけておいたらどうですか。

○神戸総務課長

わかりました。

それでは、懇談会の次第に沿い進めさせていただきます。続きまして、4、連絡事項でございます。この懇談会に際してのお願いなど、連絡事項が3点ございます。

まず1点目です。お手元に配付してございます出席者票にご記入をお願いいたします。

特に座席番号の記入忘れのないように、お帰りの際には机の上に伏せてお帰りいただければ幸いです。住所欄は町名のみで結構です。もしくは所属団体名の記入、そして氏名を記入してください。

2点目です。この懇談会では情報公開用の会議録作成のため、録音をさせていただきます。これを要約した形でホームページに公表し、また、財団報「ぱれっと」には抜粋した形となりますが、掲載してまいります。なお、発言者の氏名は公表いたしません。

3点目、この会の終了予定時刻は午後9時とさせていただきます。以上が連絡事項となります。

この利用者懇談会に初めてご参加の方もいらっしゃると思いますので、利用者懇談会についてご説明いたします。この会は日ごろ、たづくり、グリーンホールを利用されている方々と意見交換をし、お寄せいただく皆様のご意見により、よりよい運営を目指すことを趣旨といたしております。この趣旨をご理解の上、よろしくお願い申しあげます。

また、利用者の皆様から財団へご意見をいただくこと、利用者の皆様同士でのご意見の交換、財団から皆様へのお願い、また市からのお願いなどいろいろあると思います。スムーズな進行ができるよう、ご協力のほどよろしくお願い申しあげます。

それでは、次第5の懇談に入ります。毎回懇談に入る前に、前回行った利用者懇談会のご意見等に対するその後の対応の確認をします。本日の配付資料である要望事項等対応表の右側の欄に太文字で10月20日現在までの間の対応状況の部分が該当になります。

それでは、該当の項目を読みあげます。

まず、対応表の項目の2といたしまして、ホールのデジタル化対応について。（1）どういう仕組みでどうなるのですか。これにつきまして、（1）10月1日から導入いたしました。1区分4万円（技師代別途）でご利用いただけますという回答になります。ご確認ください。

続きまして、2点目です。2ページ目の項目の4です。映像シアターでの合唱練習を許可してほしい。こちらにつきましては、利用者のご協力を得て、約40人規模での合唱練習の検証及び電子ピアノの演奏（単体で利用し、施設機器での拡声は行わない）での検証を行いました。いずれも扉を完全に閉じた状態であれば、周辺施設及び上下階への影響はないと判断いたしました。つきましては、11月から50人程度の練習を可とさせていただきますので、ホール系施設と同様のルールでご利用をお願いいたします。

ただし、発声の個人差等もあることから、ほかの施設に影響が出る場合は、利用の制限をお願いすることもありますので、ご理解くださいということです。こちらはこの内容で回答させていただきます。この件につきましては、よろしいでしょうか。

〇〇

質問は後ですか。

〇神戸総務課長

では、このタイミングで。

〇〇

検討していただきまして、ありがとうございます。11月からということは、既に受付を始めているということですか。

〇渡部施設管理係長

はい。

〇〇

人数についてですが、あのホールは100人規模のホールです。50人程度の練習を可とさせていただきますということですが、どのように理解すればよろしいですか。例えば五十何人とか60人ぐらいまでは程度に入るのか、その辺のところはいかがでしょうか。

私は、音楽連盟とかに所属してまして、40人、50人という合唱団体が出てきます。100人以上ということではありませんが、2桁ぐらいまでの練習を認めていただけるのでしょうか。

また、楽器につきましては、電子ピアノで調べていただき、私たちが検証した際はアカ

ペラでしたが、ピアノなどの場合、打楽器的に響きが出ると思います。クラビノーバ程度の楽器を配置していただければ、合唱しているサークルには非常に使いやすい施設となりますので、その辺りはよろしくお願ひしたいと思ひます。

○渡部施設管理係長

では、回答いたします。○さんに約50人規模で検証にご協力いただいたと思ひます。

○○

はい。

○渡部施設管理係長

40人規模を50人規模に改めさせていただきましたが、回答文にあるとおり、あくまでほかの施設に影響が出ないようにすることが一番大事なことだと考えています。人数に関しては、確かに100人入ると100人で歌うことも可能だと思ひますが、今回50人という数字に関しては、あくまで目安と思ひていただきたいです。発声の個人差を踏まえると、何人が妥当だということまでは言及いたしません。あくまで他施設への影響を考慮します。例えば80人で練習される場合について、80人で声を出してみたら実際には外に出てしまったということであれば、例えば40人や60人でお願ひする可能性はあります。

電子ピアノについては、なかなか調達が難しかったのですが、ご満足いただけるようになっていると思ひます。

○神戸総務課長

以上のおりご回答申しあげさせていただきました。

発言いただく前にお名前をお聞かせいただければと思ひます。

○○

私は、利用者会議に所属しています○と申します。

○神戸総務課長

項目4につきましては、よろしいでしょうか。

では、確認を進めます。3ページの項目の8になります。和式トイレの便器を温水洗浄便座に交換してほしい。こちらにつきましては、年に2基ずつ交換を進めていきます。現状では、文化会館たづくりでは2か所（東館、西館ともに1階の身障者優先トイレ）、グリーンホールでは3か所（1階小ホールの身障者優先トイレ、2階大ホール北側の身障者優先トイレ、2階楽屋の男子トイレ）が温水洗浄便座となっています。この件につきまし

ては、よろしいでしょうか。

続きまして、項目の11です。文化会館たづくり10階フロアの全部屋というように、複合的に抽選できるようにしてほしい。こちらにつきましては、現在、10階フロア、12階小会議室、3階南側会議室の組み合わせについて、システム業者とテスト環境で検証中でございます。なお、10階フロアについては、現在も抽選申し込み時の組合せで全フロア申し込みができます。10階フロアにつきましては、現在も抽選が可能ということで回答させていただきます。残りのフロアにつきましては、検証中ということでございます。この件につきましては、よろしいでしょうか。

では、先に進めさせていただきます。4ページの項目の13です。むらさきホールで床へ横になってストレッチができるマットを常備してほしい。ストレッチマットについては、ポリ塩化ビニール製のヨガマット等が一般的ですが、通気性が悪く、衛生上の管理が困難であることから、市総合体育館においても利用者側の持ち込みで運用いたしているとのことです。以上の理由から、現状では導入を見送ることとさせていただいたところです。

なお、舞台用品で上敷きというのでしょうか、こちらは有料での用意がございます。代用としてご利用いただければと考えております。マットについては、現状では導入を見送らせていただいております。この件につきましては、回答よろしいでしょうか。

では、5ページの項目の16です。施設案内・催し物の案内が流れるモニターについて、たづくりとグリーンホールの当日スケジュールが頻繁に表示されるようにしてほしい。こちらにつきましては、現在、当日の貸し館スケジュール画面の表示が同時間内で倍になるように改善いたしましたところがございます。改善をさせていただきましたので、よろしくお願いたします。

○F

東つつじヶ丘のFです。

この件については、先ほど1階のエレベーターの前で確認しました。その際は会館の設備の案内が出てから、実際にスケジュールが出ていました。特に地下の場合、エレベーターの前にある意味は、本日参加する催し物が何階であるのだろうと確認するのが、最大の目的だと思います。1階で確認した範囲内では、どうも会館の設備の紹介が主で、何階のどういう部屋で何があるかという案内については、私としてはまだ足りないと思いました。スケジュール表示を主にしていただいたほうがいいのではないかと考えます。倍になったというのはどういう意味でしょうか。

○渡部施設管理係長

映像展開の回数なのですが、現状でも全ての案内が表示されるまでにいくつか画面展開があります。このお申し出をいただく前は、施設の催し物の案内画面が、例えば4画面あるとすると、4画面続いた後に施設案内の画面が4画面続くようなかたちであったとすると、現在は、催し物の案内の4画面の後に施設案内を1画面入れて、催し物の案内をまた入れ、施設案内の2番目の画面を入れているというイメージをしていただければと思います。施設案内を一気に4画面流すのではなくて、1画面ずつに分割して、その間に催事のご案内を多目に入れ、案内が展開しています。

○F

すると、サイクルが短くなったということですか。

○渡部施設管理係長

そうです。

1画面ずつの長さに関しては、人によっては長過ぎる、短過ぎるというご要望がいろいろありますが、現在は10秒か15秒程度で展開し、時間を設定しているところです。

○F

確かに設備の紹介も大事だと思います。しかし、利用者はどこの部屋で何があるかというスケジュールをまず確認したいです。スケジュール表示の尺を増やしていただき、設備紹介はもっと減らしていただいてはどうでしょうか。

○O

少し関連してよろしいですか。私のイメージでは、夕方であれば4時半までと5時までで次の団体の利用を確認する場合があります、例えば4時ごろ来た際、夜間区分がみられるかどうかということところです。夜間区分を確認したいが、その時間帯はまだ午後の区分を表示し、夜間区分がみられないときがあったので、何か工夫して欲しいという経験があります。1日利用していれば、案内に全部出るのですが、短い区分で午後だけ、夜間だけだと、その区分以外のところが出てこないことがあります。

○渡部施設管理係長

今少し失念しておりますが、例えば午後2時ぐらいになれば午後区分と夜間区分が出るようになっていたと思います。ですので、一時的に催し物の案内の量が多い場合と、午後1時ぐらいだとすれば午後区分と1日全日利用している団体のスケジュールであるなど、そのような組み合わせにはなっています。



〇〇

わかりました。私が確認した時のタイミングの問題だと思います。

〇渡部施設管理係長

確認しておきます。

〇神戸総務課長

それでは、この件についてはよろしいでしょうか。

先に進めます。6ページの項目の23です。図書館が所有している視聴覚資料の有効活用の一環として、市民カレッジの初回に視聴覚資料の紹介をしてもらっているが、先日、図書館に話をして7月20日の市報に約2万点近い視聴覚資料のPRをしてもらうことになっています。図書館から財団報「ぱれっと」にも載せたいという依頼が来ているはずなので、よろしくをお願いします。この件に関しましては、財団報「ぱれっと」9月号の5面に視聴覚資料の紹介記事を掲載いたしました。

〇F

記事を見ましたが、PRには全くなっていませんでした。記事については、文化会館たづくりは非常に見晴らしのいい空間にありますという紹介にはなっていましたが、視聴覚資料が2万点もあるなどということはどこにも書かれていませんでした。ビデオ、LD、CDがありますとは小さい字で書いてありましたが、視聴覚資料を利用促進が打ち出されないと意味がないです。全く趣旨に沿わない記事になっていました。もう一度掲載してください。財団報「ぱれっと」9月号では全くPRになっていないので、よろしくをお願いします。神戸さん自身、ごらんになりましたか。

〇神戸総務課長

はい。

〇F

あれでPRになりますか。見晴らしがいいとか、そういうことはどうでもいいのです。

〇神戸総務課長

それはFさんの受け取り方の違いもあるのかなと思います。安心・安全・快適な空間を目指してといったタイトルで出させていただいております、視聴覚資料も活用していただきたいですし、展望ロビーなどの空間もあわせてご案内させていただきたいということで、掲載しています。

○F

先日計算したのですが、1億円近い金額を投じていました。それはやはり活用した方がいいと思います。ぜひ多くの方に活用していただけるような記事にしてください。お願いします。

○神戸総務課長

そちらにつきましては、ご意見として承らせていただきます。

○F

今、神戸さんが説明をされなかった項目で私が発言したいことがあります。後でゆっくりとやります。

○神戸総務課長

では、またこの後に順次。

これまでは、前回までの確認ということでご説明させていただきました。

では、ここから他の話題等に関しまして、お1人ずつご意見をいただければと思います。

出席者全員の方からお話しいただこうと思います。参加者全員が話す時間がとれるように配慮させていただくことをあらかじめご了承いただければと思います。発言がある場合、私から指名させていただきます。また先ほど申しあげましたが、発言の前にはお名前をお願いできればと思います。

では、端から進めさせていただきます。Kさんからお願いします。

○K

全然、テーマが違うのですがよろしいでしょうか。

○神戸総務課長

どうぞ。

○K

この懇談会は去年も開催されたのでしょうか。染地のKと申します。

初めて参加してみたのですが、本日の資料を確認しても、今夜の会は懇談会となっています。懇談会というのは座談会と変わらないわけです。テーマもなければ決議もないわけです。去年の会がどのような内容か知りませんが、恐らく本日の資料のような内容ではないかと想像します。本日のようにそうそうたる方々が参加し、このテーマを論議する必要はないと思います。こんな内容は簡単です。委員会を作り、議論すれば済みます。もし、どうしてもこのように市民を集め決めたいことがあれば、議題を出し議長を置き、決議を

とるのです。きちんと記録を公表し、実行していかなければ物事は進まないのではないのでしょうか。懇談会とか座談会であれば言いっ放しで終わります。決めなくて終わっても文句のいいようがありません。この会は改善の必要があると思います。それを一番に感じました。出席して初めて気がついたことです。改めてほしいと思います。これではどうしようもありません。

今回出されている内容ですが、今やっていることの内部改善についての問題がいろいろ出てきているわけです。細かい案件で、内容の改善ぐらいであればいいではないですか。

私は、たづくりとグリーンホールについての話をするというので、勇んで来てみたわけですが。調布でこのような立派な建物と言え、やはり文化会館たづくりでありグリーンホールであるわけです。市民を吸収するには、この建造物は大変有利だと思っています。そこで集められて話す内容がこの程度の内容であるのなら、参加する必要はありません。

建物がもったいないと感じました。こういう内容で今後もおやりになるのなら、私は出席しません。もしこの会を継続するのであれば、テーマを決めてください。

私の議論したいテーマとしては、もうすぐに第2回東京オリンピックがまいります。これだけ立派な設備をもっているのだから、この建物を活用して、準備に入らなくてはいけないと思います。ところが今は何も関連するものがありません。司会者側からもテーマとしても出てこない状況です。

私は、先日の市議会の決算報告会の際にも言いましたが、深大寺のお寺の南に昔の城跡が1万5,000坪あります。この土地が昔から眠っています。駅のすぐ近くで、便利なところであり、調布に目を向けるのに活用できる場所ではないか、このチャンスを逃したらもったいない、動き始めなければいけませんと喚起を促しました。個人が言っても余り反応はありませんでした。1万5,000坪の土地は東京都の名義になっています。東京都がやろうとすれば、何をやろうとしても土地の使用にお金はかかりません。調布に目を向けさせてください。立ち上がってもらいたいと思います。いいチャンスであると思います。

このように皆さんが集まり、会を重ねるたびに大きなテーマを議論していきたいです。

細かいことはいいではないですか。電話などでも解決します。このような方々が集まる会ですので、もっと大きいテーマを議論したいです。少し言い過ぎかもしれませんが、そのようなことを強く感じました。言いたいことはたくさんありますが、本日はここまでにします。失礼しました。

○神戸総務課長

ご意見として承らせていただきます。

○K

少し飛躍しました。でも、そのくらいの意気込みでないと6年後はすぐにきます。

○神戸総務課長

オリンピックに向けてそういった視点でのお話し合いが必要ではないかということ、これがいい機会ではないかということでのお話をいただきました。

○K

20日に都知事が調布に来ました。私も行ったのですが、申し込みをしていないので入れさせてもらえなかったです。そのとき、その場で文書を書き、これを知事に渡してほしいと東京都の職員にその文書を渡しました。文書には、深大寺を生かしてほしい、東京都名義の1万5,000坪の土地をいつまで眠らせるのか、ぜひ活用してほしいという内容のものです。それからもう半月以上経ちますが、回答はありません。これではしようがないと思い、経済産業大臣をした代議士の方の事務所に行き、そちらからも知事にいってほしいと、お願いしたがこれもまた何とも回答がない状況です。終いには怒りが込み上げてきました。

○神戸総務課長

わかりました。ありがとうございます。

○K

小さいことは自然に解決するから、大きく羽ばたいてください。

○神戸総務課長

大きな視点でということでお話しいただきました。ありがとうございました。

○M

私は、社会教育課のサポート事業の歴史サークルに所属しています。毎月2回勉強会をしています。ここのところ毎回出席していますが、いろいろな細かいことも含めて利用者からの要望を丁寧に改善できるところは改善していただき、やはりこういう場は大事であるといつも思っています。1つは、特に今回は平日の夜ということもあると思いますが、本当に参加者が少なく残念だと思っています。以前にも意見として出たと思うのですが、皆さんの目につくところや何か違う方法でもう少し宣伝を工夫してもらいたいです。

この参加者数は、私たち利用者の意識の低さもあると思います。一人一人がとにかく借

りられればいいという意識で来ているのかとも感じます。もちろん、忙しい中でいろいろな習い事をしたりサークルをやったり音楽活動をやったりして、精いっぱいというのはわかるのですが、ここを利用している人たち、それからここを日々支えている職員の人たちとお互い協働で施設がより使いやすいものになっていくと考えています。これは当たり前前のことですが、もっと利用者が参加できるような工夫をしていただきたいですが、私たち自身もそういう努力をしなければいけないと思いました。

○F

今のご意見に関連ですが、全く同感です。このようないい機会があるのですが、もう少し参加する市民が増えていかないと残念な気がします。いつも財団報「ぱれっと」に掲載する利用者懇談会の報告記事が、当たり障りのないことだけ出しています。あれではこの会の意義が余り伝わらないです。いい機会であることが理解できないと思います。ホームページを読めばと言いますが、ホームページをごらんになる人は、まずいないと思います。だから、財団報「ぱれっと」での利用者懇談会の記事は財団に耳の痛いことについても載せてもらいたいです。具体的にこういった改善がなされましたということの数多く載せれば、利用しやすい施設であることが伝わると思うのです。少なくとも、これまで財団報「ぱれっと」に掲載した利用者懇談会の記事では全く不十分です。利用者懇談会の記事のスペースをもっと広げ、改善がされたというPRをもう少しやってみる必要があると思います。

○神戸総務課長

ご意見をいただきました。利用者懇談会の周知につきましては、これまでは1か月前を目途に周知してきたのですが、2か月前から周知を行っています。私たちの方でも情報発信ということには意をもって行っているところでございます。また、直接利用者に広報することもしており、1階インフォメーションでもチラシも10月中旬よりモノクロで1,000枚配布しました。これまでは500枚程度でございました。

また、Eメールによる施設の利用情報の配信サービスも導入し、今回は10月17日付の配信メールでの周知を行っています。これまで取り組んだことに加え、さらに利用者の方には広く知ってもらい、参加を促しているところでございます。私どもも努力させていただくことではございますが、今後とも重ねて努力してまいりますので、よろしく願いいたします。

〇〇

先ほど発言させていただきました、〇と申します。

文化会館たづくりが完成したときに、市の直轄運営ではなくて、新たに財団を作り運営していき、市民が利用しやすい施設にしていくということで、利用者の意見をどんどん取り入れ、運営していくということを当時から言っていました。本日のように意見を聞いていただける場を設けていただくのは非常に大切なことだと思っています。

先ほどの話ではありませんが、例えば音漏れのことでも利用者はお互いさまで使っている者同士、全く静寂なところを利用するというのぞみ方はせず、お互いに協力し合うことが必要です。邪魔になるようでは困りますが、その辺りはお互いさまでやっていこうというところを会館の方でも考慮しながら運営してもらいたいと思っています。音漏れの問題にしても、50人といたら本当に50人ぴったりで、それ以上の人数であればやめてもらいますということではなく、私たちも邪魔にならない程度を探っていこうと思っていますので、柔軟な運営を行っていただきたいと思っています。

あとは、以前言いましたが、今年の音楽祭も2日にグリーンホールで行いましたが、そのような発表を求める活動をしている団体も増え、大人数で練習したいというところも多いです。グリーンホールのリハーサル室の利用についても引き続き検討をお願いしたいと思っています。

最後に、利用者の声を反映したということがもっとわかると、この懇談会も良くなると思います。名前が悪いのかもしれませんが、参加者がまた増えてくるのではなかろうかと思っていますので、よろしくをお願いします。

〇K

いいですか。

〇P

次にいいですか。

〇K

意見があります。

〇P

いや、順番でいっています。

〇K

そうですか。失礼しました。

○P

Pと申します。私も公民館・たづくり利用者会議など、ほかいろいろと入っています。

先ほどKさんもおっしゃっていましたがテーマを決めるというのは、確かにたづくりの職員の方と顔を合わせて話す絶好の機会ですので、なぜこんなに人数が少ないかというのは、1つは自分たちの問題、私たち利用者側の当事者意識の無さだと思います。先ほどテーマを決めてというご意見ありましたが、ああそうだなと感じました。やはり皆さんが自分の問題としてもう少し関心を持つことが大切です。

多くの利用者がいますが、こういう場には来ないというのは、自分のところがうまくいけばそれでいいと思い、どうしてもそこから一步抜け出ないからです。料金の問題や、これからこの施設をどのようにしていこうかというテーマを個別に皆さんに提示することで、もっと関心が深まるのではないかというのを感じ、テーマを決めるのもおもしろいと思いました。今後の取組みの1つとしていいアイデアではないでしょうか。

例えば、調布は今駅前にビルも建っていますし、人口がどんどん増えていっています。

こういった公共施設は、もっと人口が増えて、その活用頻度も増えてくるのに対して足りているのかという心配もあります。また高齢社会もあって、これからの使い勝手が変わってくるのではないかと、時代の流れによってたづくりも多様性を問われ、変わってくると思います。

今回の利用者懇談会の対応表を見て、私が意見をいわせていただいたのは、10階通路の使い勝手についてということです。例えば、椅子やテーブルを置いたりして、そこに憩いの場をつくるなどもっと活用できるのではないかと考えます。単なる通路としてのスペースだけではなくて、もう少しそこを多目的な要素も含めて活用していくことも考えられるのではないのでしょうか。

○神戸総務課長

今のお話でいくと、10階のところの項目についてでしょうか。

○P

そうです。まだ多くのご意見をお持ちの方が来られると、もっといろいろな意見が出てくるのではないかと思います。

○K

もし意見がなかったら言わせてください。

○F

今のテーマについては、私の意見は逆です。テーマを決めると、それだけしか話ができないということになるのではないかと思います。フリートーキングの場として設けたのがこの懇談会です。市長のふれあいトーキングもそうですし、それから、この利用者懇談会も、ちょうど10年前ですが、当時の財団の幹部が全くやる気がないので、私が市長にまで話しして、利用者の意見を吸いあげてほしいということで2005年にやっと第1回を始めたわけです。それから毎年2回ずつ開催しており、私は毎回出ております。この会のいいところは、フリートーキングでテーマを定めないことです。意見があったら何でも出しますということだと思います。財団の方から、今度はこのテーマについてやりますという指定すると、逆に参加者は減ると思います。テーマはあったら自分で出したほうがいいというのが私の意見です。

○神戸総務課長

ありがとうございました。今、開催の考え方、テーマを決めてはいかがか、またはフリートーキングがよろしいのではないか、などいろいろなご意見をいただいたところでございます。この件につきましては、今後の方向性を定めていくところにもつながっていくと思いますので、今の段階ではご意見をいただいたという形で進めさせていただきます。ありがとうございました。

○渡部施設管理係長

10階の通路に関するご提案に関しては、前回お話しした中でお説明はさせていただいていると思っているところです。ただ、Pさんから具体的にテーブルや椅子の設置というお話がありました。そちらに関しては、現在1階にこの春からテーブルと椅子を設置しています。

○P

丸いテーブルと椅子ですね。

○渡部施設管理係長

はい。以前は平らなソファがありました。一般的な人通りがないので、あそこでホームレスのような方が横になられたり、子どもが1日中ずっとカードゲームをやっているという経過があります。そういった経過を踏まえると、よい環境も作ることができていると思います。

ただし、あの辺りにもう1つ部屋をとというようなことに関しては、前回、部屋の定員に



関するお話もさせていただきましたが、ここで50人、隣で50人、向かい側のお部屋で合わせて50～60人の定員があり、非常時に関して避難する際にそういったものが障害になるというところがあります。また、消防署からも許可をいただくのは建築として厳しいと思っております。

この会に関しては、施設の利用の利便性についての意見、ご要望を多くいただいています。施設の使い勝手に関するご意見やご要望に関しては、年に2回の貸し施設利用者アンケートや日常でのアンケート、電話と窓口などでも伺っているところですので、この場に限らず頂戴したご意見は、改善に取り組む中で、私としては組織にとっての成長のチャンスでもあり、利用者の皆さんの信頼を得るチャンスとして捉えて、真摯に取り組んでまいります。

できることは即実行させていただいているつもりでおりますし、できないことはどのようにやったらできるのか、代替となる方法はないだろうかということで真剣に考え取り組んでまいりましたが、もちろんそれは当然のことでございますので、今いうことではないかもしれないのですが、私がこの立場に就任して3年目、利用者懇談会は6回目になっています。この間の施設の使い勝手に関する改善等についてどのようにご評価いただいているかということは、私が存じあげるところではないのですが、この機会をチャンスだと思い、いつも真摯に取り組み、部下にもそういう指導をしてきたところでございます。

Fさんがおっしゃるように、以前に関しては、こういった公共的な場でない事で改善されていかなかったり、もしかすると皆さんの信頼に足だけのことが、なかったのかなと思っております。しかし、もしそういった体質があったのであれば、今はそうでないということをご理解いただきたいと思っております。年に2回のこういった場だけではなくて、施設の使い勝手に関しては、一つ一つが各団体の発展と市の芸術・文化の振興に寄与できるものと考えていますので、いつでもお気軽にお申し付けくださればと思っております。

さらにもお願いなのですが、Fさんのお話にもちようどあったのですが、もちろんこちらの場で、フリーのお話の中で、施設や財団に関するお話をしていただくのも結構だと思っております。ただ、こういった場にいらっしゃっている方たちは、特に利用者の中でも熱心に調布市の文化行政について関心がある方であると思っております。調布市の方や財団の役職のついた者も多数出ておりますので、Kさんのオリンピックの話題ではないですが、例えば、たづくりとグリーンホールを拠点にした調布市における芸術・文化のこれからのあり方というテーマであったり、若者層に対する芸術・文化の継承と公共文化施設の役割というよ

うな話をしていく中で、パートナーでもある利用団体だけでなく、個人の方も意見や提案を交わし合える発展的なパブリックな場にして、いろいろなお話が聞ければいいのではないかと考えています。

○神戸総務課長

今、渡部係長からは個人としての意思表示です。

○M

今の発言に関連してよろしいですか。Fさんが終わってからのほうがいいですか。

○F

いや、私は後でゆっくりやりますので、どうぞ。

○K

できるだけ時間短くやりましょう。皆さん話が長いから。時間が幾らあっても足りないです。

○M

いや、そういうことではないと思います。先ほど、テーマを決めてということですが、Pさんからも意見が出たときに、これはそういう場ではないだろうということ、そのときはちょっと違うなと思っていました。Fさんがそのことに関して、いや、テーマを決めるのではない、懇談会というのは利用者がいろいろフリーでと。そのときも、そういう場かなと思いましたが、今、渡部さんの発言を聞いて、そういうことはあってもいいなと改めて思いました。だから、例えば調布の公共施設をみんなでどう使おうかとかなど、若い人も来てくれそうなテーマを決めてもいいのではないのでしょうか。しかし全部それだけではなく、その中で、今困っていることなどを相談するという時間があってもいいと思うのです。

もう1つは、渡部さんが皆さんの意見を聞いて、できることはやっていますというお話をしましたが、実は私も1つ感激したことがありました。1年ぐらい前に、私は使ったことがないのですが、私たちが催した映画会が保育付きだったので、保育室を使ったときがありました。やはり保育をやった人が使ってみるとわかるのですが、ドアが鉄の扉で、子どもが指を挟んだらどうしようと思ったなど、普通のところからトイレに入ってしまうと、そこが死角になってしまって小さい子がみられないということなど、使った保育室から、これ何かあったら困るのではないとなったことがありました。それから、段差があって常に目が離せないという話が、主催者だった私にきたので、そのことを渡部さんに申しあげ

ました。その際もっと詳しく聞きたいというので、その保育者を連れて、日を改めて検証を行ったのです。その人と渡部さんとで上に行って保育室をみながら、どこでどのようにその方が問題を感じたかということと一緒に歩いていただいて、きちっと意見を受けとめていただきました。予算のかかることなので、すぐはできないかもしれませんが、これは安全の問題だから即できるように努力しますというお返事をそのときいただきました。私はそのときそのように丁寧に対応していただいたのが初めてでした。個人名を挙げて失礼かなとも思ったのですが、そういう対応は私たちの側からしたらうれしいことですし、その場ですぐ変えてほしいとか、すぐやってほしいというようにできないことは百も承知ですが、頑張りますと言ってくたださただけでも、うれしかったです。

○F

渡部さんについては、私も全く同感です。ほかの件でもいろいろお世話になっているのですが、本当に市民の立場に立ち、即動いてくれるのは渡部さんです。そういう意味で、私は渡部さんには非常に感謝しております。言い過ぎかもしれませんが、職員にしては珍しい人です。

○K

本日、司会者側から出されたテーマは何ですか。議題は何か用意してありますか。

○神戸総務課長

利用者懇談会では、特にテーマは設定していません。

○K

議題を出さないのですか。全部懇談会で終わるわけですか。

○神戸総務課長

そうです。

○F

テーマがあったら自分で出しましょう。そういう懇談会です。失礼ですが、議題がないかというのではなくて、自分でテーマを出すという場です。

○K

これをみても議題が出ていません。懇談会とだけしか出ていないので。これではほかの新しい人は参加してきませんよ。ちゃんと議題をつくって、こういうテーマでやりましょうとか、やはり何か決めていかないと。

ここにこれだけのいい立地条件で大きな施設があるわけですから、1つ例を挙げさせて

もらうと、たづくりの1階に玄関広場があります。ところが、いつ来てもがらんとしています。入ってすぐエレベーターやエスカレーターで上へ上がってしまいます。ところが、市役所よりもグリーンホールよりも、このたづくりに来る人が一番多いのです。その広場の横壁が四方とも全部あいております。何もない、空白です。私は、スポーツ振興課に行っておなたたちはスポーツを振興し、オリンピックもくるのに何をやっているのだ、1つも通じてこないという話をしました。調布にオリンピックで金メダルをとった人は何人いるかといったら2人おります。金メダルが2つ、銀が1つ。金メダルは1人の人が柔道でとりました。そういう人をこの壁に写真で大きくとって、額にはめて、オリンピック金メダル入賞者として大きくクローズアップしようではないかと思えます。ここに相当の人が入ってくるのだから、それをみて刺激になり、大いに啓蒙になるだろうと考えます。それもやり方の1つであろうということも話しました。

この建物を利用し、市民を引っ張っていくリーダーシップが必要ではないか。ただ漫然とするのではいけないと思えます。テーマも出てこないし、小さなことばかりではだめです。もっとみんなを引っ張っていきましょう。これだけの優秀な方々がいらっしゃるのだから。そう思います。

○神戸総務課長

ありがとうございます。利用者懇談会につきまして、今ご意見いただいたところでございます。冒頭、私のほうでも、この懇談会の趣旨はご説明申し上げたところであります。テーマは特に設けておりませんが、よりよい運営を目指すことを趣旨といたしているところでは、この内容をご理解いただいて、進めさせていただいているというところがございます。その中で今、また改めましてご提案をいただいたところでございますので、こちらにつきましてご意見という形で受けとめさせていただければと思います。

では、よろしいでしょうか。

○F

東つつじヶ丘のFです。私の申しあげたいことは、昨日吉田常務理事宛てに、皆さんにお配りいただくようにということでA4サイズの資料を1枚メールでお送りしました。それから、本日、その補足をお配りしております。

懸案事項1についてです。理事会、評議員会の傍聴の件ですが、吉田さんが常務理事をやっていたら、それから土方さんが事務局長をやっていたら、市民の率直な意見が理事会、評議員会には伝わらないとみえます。この件については、2人が現役

職を担当していらっしゃる間は諦めます。次の方に期待いたします。それが理事会、評議員会の傍聴に関する件です。

それから、2番目は、前回最後に申しあげた市民カレッジのバレエへの招待についてです。バレエシートの上映が全然ない講座で終わりました。そのことについては、本日来ていらっしゃる4人のうち3人は前回出ていらっしゃるのので、詳しい話は時間の関係で省略いたしますが、このまとめ表で、終結したものとみておりますと書いておられますが、全く終結しておりません。財団と話をしたのでは進まないのので、今、指導監督部署である生活文化スポーツ部に交渉の相手を移しております。

その経過は、A4の紙の下の方に書いてあるとおりののですが、これは財団として内心どのように思っているかわかりませんが、バレエシートの上映がない講座を8回やって、私に対してうそをおっしゃったということです。

一例が、講師が言ってもいないことをメールで私に送り、後で事務局長から、あれは財団の方で講師の考えを作文しましたというおわびのメールをいただいております。それから、最終回、3月14日に事務局長が私に対してすみませんでしたと、もう一度さらに重ねて、今、すみませんでしたと私に言いましたよねというようにまでおっしゃった。それから、バレエシートの上映がないことについて、受講者にアンケートをとりますと言いました。これは事業課長から私にメールをもらっているのですが、そのアンケートには、上映がないことについては何の設問もなかったです。それにもかかわらず、アンケートでは6名もの人がバレエシートの上映がないことについて不満を言っておられます。もし設問があったら、全員がバレエシートの上映がないことについて不満ですとおっしゃったと思います。

当初19人登録したわけですが、出席者は第1回が18人で、回を重ねるに従ってだんだん減っていき、最終回はわずか8人でした。いかに魅力のない講座だったかというのはそれをみてもわかると思います。

それで、満足でない受講者にはおわびを申しあげ、受講料を返ささいと提案したわけですが、吉田常務理事からは、ほかの人、要するに満足された方に対して不公平になるからお返しはできませんと回答がありました。そこで見切りをつけて、生活文化スポーツ部に相手に移したわけです。

その後、やりとりをし、現在のところ、八田部長からもらっている回答では、当財団のコンサートや映画などの事業と同一の取り扱いだから受講料は返しません。それから、ア

アンケートについてはやって、ちゃんと報告しましたという回答が現在届いています。

それに対して私が、バレエシーンの上映がないことについてはどう反省、謝罪をなさるのですかと。これは講師からの一言としてパンフレットに書いてあるのですが、バレエの醍醐味はダンサーたちの美しい身体表現、官能的で背筋がぞくぞくするエキサイティングなバレエの世界を心行くまで味わいましょうという表現もありました。また、バレエの講座でバレエシーンの上映のない講座は、一般市民対象であればおよそ考えられない講座です。それにもかかわらず、結局バレエシーンの上映のない講座で8回終わったということです。先ほど申しあげた、事務局長の最終回での私に対するおわびの言葉は何だったのですか。

それから、アンケートももってきましたが、上映シーンがないことという設問は何も書いてありません。これで八田生活文化スポーツ部長に、あなたはこれを自分でご覧になってどうですかという質問を10月30日に出しているのですが、今日現在、何ら回答をいただいております。この件については、生活文化スポーツ部から出席されている仁藤さんにお答えいただきたいと思います。この講座でバレエシーンの上映をしなかったことについて、どうお考えか。それでいいのか。それから、このアンケートは事業課長が私に対して送ったメールの内容そのものになっていますかという2点をお答えください。

○仁藤文化振興課長

2回目のご質問は何ですか。

○F

2回目は、このアンケートにバレエシーンの上映がないことについての設問はどこにありますかということです。

○仁藤文化振興課長

八田にご質問いただいた件ですが、八田は出席しておりませんので、私から回答させていただきます。

ほかにおられる方には事情がよくわからないかもしれませんが、八田からは、Fさんに宛てて一旦返事をお返ししております。ただ、次の質問に対しては同じことの繰り返しですので、メールでもご回答させていただきましたし、お電話でもお話をしており、八田と同じ見解であります。

○F

その設問はどこにありますか。上映シーンがないことについての設問はどこにありますか

か。同じ答えだということでは答えになっていません。

○仁藤文化振興課長

私からはそれでお答えにかえさせていただきます。

○F

もう一回大きな声でいってください。

○仁藤文化振興課長

八田が申しあげたとおりでございます。

○神戸総務課長

市からの回答ということでお受け取りください。

○M

いいですか。どういうテーマで、詳しい事情がよくわからないのですが、私も前回、最後にFさんの発言を聞いていたのですが、時間切れでした。私も意見は言えなかったのですが、最初にバレエシーンの上映があるということでの講座だったのですか。

○F

私が申しあげた、バレエシーンがあることをうかがわせるような講師からの一言が案内にありました。バレエシーンをみてぞくぞくしましょうというようにしかとれないような。それでもって、一般市民相手のバレエの講座であれば、バレエシーンの上映は当然あるだろうと思って受講したと思います。アンケートについても、設問はなかったのですが、6人の方がバレエシーンの上映がないことについて不満をいっていらっしゃるということです。

○M

確かに、最初はバレエシーンがあると思って講座に参加したのにバレエシーンがなくて、これは話が違うではないかということなのでしょうけれども、例えば、私たちは芝居をみたり映画をみたり行きます。そのときに、すごい期待外れだったり、そういったこともあります。そのときにがっかりして、何なんだ、これはおかしいというようにいうことは、別に1つの意見として、こういうことが次ないようにということで、意見をいうなどは申しません。ただ、受講料を返せということは、例えばそういうことって結構ありますよね。この中でもいろいろな企画があったときに、お金を払って、これは自分の思ったのと違うからお金を返せということが、前例としてあるのですか。

○F

あります。

○M

いや、今後もそういったことが出てくるのではないですか。おもしろくなかったからと。それはちょっと違うのではないのでしょうか。映画を観てつまらなかったからと同じようなものです。

○F

いや、そう言っているわけではない。

○M

いや、でも、私にはそのように聞こえます。だから、バレエシーンがあると思ったのに、これからはこういう講座はやめてほしいという、今後のための批判として、1つの意見としておっしゃることはよくわかりますが、受講料を返せということはすごく疑問に思いました。

○F

それはあなたの意見です。

○M

今後そういうことがあれば、こちらとしては対応できなくなるわけです。以前返金したのではないかという混乱が起きませんか。私は単純にそのように思います。

○F

返してもらった例はあるのです。

○M

だから、それ自体が私はおかしいと思います。

○F

そのときは私が請求したわけではないのです。ある美大の先生の講座が全く話にならなくて、この講座はやめなさいと私が提案したのです。その際、実際に当時の幹部がみて、なるほどFさんのおっしゃるとおりだということになりました。受講料を返すので勘弁してくださいということがあったわけです。

○M

いや、でも、私はそういうことをしたこと自体がすごくおかしいと思います。



○F

そうですか。

○M

こういうことがあったのだから、また受講料を返せということはどうかと思います。

○K

終わってから話をしてください。続けてもしようがないです。

○F

今の生活文化スポーツ部としての回答は、私の質問に対する回答になっておりません。どこに設問がありますかという質問についても回答がないということで、それが市の職員ですかというように申しあげて、この件は終わります。それ以上は申しあげません。

○P

今の件ではないですが、本日資料として出された最初の理事会傍聴について、短い文書なのですが、その後の対応というところで、議事録の公開を行っており、透明性については担保できていると考えておりますということなのですが、市議会でも傍聴できるのが前提です。そこに市民が来る、来ないは別として、傍聴できるという前提のもとにあるべきなのが民主主義だと思います。それが傍聴できなくて、議事録が公開されているといっても、その人が何をいったかわからないわけです。その人の顔色、その人の状況、こうやって皆さんのお顔を拝見して、この方がこの人なのだというのが私たちは初めて分かります。そこに利用者が来ないかもしれません。しかし、当然いつでもどうぞとオープンにしておくのは当たり前ではないかと思っています、いかがでしょうか。

○F

現在の常務理事、事務局長では変わらないです。

○P

今、議会にしても、放映して少しでも市民にオープンにしようという流れになっています。たづくりのような場はなおさらそうではないでしょうか。そこに出向いていくかどうかは別として、前提としてオープンでなければ、おかしいと思ったのですが、いかがでしょうか。

○神戸総務課長

今、Pさんから傍聴に関してのご意見、オープンにされて当然のものではないかということをお話しいただきました。そのご意見に関しましては、私たちのほうでもこれまで議

論してきたところでございますが、改めての回答といたしましては、今こちらのペーパーに書いてあるとおりになります。これまでも理事会、評議員会で協議をして非公開という形、議事録を公開させていただいていることで透明性の担保ということで私たちの考えをお示しさせていただいているところでございます。また、今いただきましたものは貴重なご意見として承らせていただければと思います。

○F

傍聴の件は、私が先ほど申しあげたとおりです。結局、吉田さん自身が傍聴に後ろ向きで、理事会、評議員会の席で、私は傍聴の必要はないと思いますというような発言をしておられます。それから、土方さんの、人事、あるいは財務の秘密のことがあるから傍聴はだめなのだという発言に対して、私は、そのときは退席すると2回申しあげています。しかし、そういった発言が市民からあったということ、そういった発言をした評議員、理事に説明していないのです。説明をすると議事録に書いてあると思いますが、説明なさっていないです。結局、傍聴について反対であるというこの2人がこの懇談会の仲介をやっている間は、理事会、評議員会で傍聴してもらいましょうということにはならないということで、冒頭に申しあげたように、この2人がやっていらっしゃる間は、私の提案は諦めますということです。

○神戸総務課長

ありがとうございます。Kの方、ご意見をいただければ。

○K

時間もそろそろ8時半ですけれども、皆さん個人でいろいろ意見が出たようですが、もう何年もこういう形で懇談してきたと思いますが、今まで何か大きな成果はございましたか。

○土方事務局長

先ほど渡部が言ったように、利用者の利便性がかなりよくなったという形で、ここで意見を聞き、すぐに対応できるものは対応しております。そういった意味では、かなり市民と近くなった部分もございます。

○K

そうですね。わかりました。それで、聞いていますと、出席なさるといろいろ個人的に意見をもっているということですね。そうすると、やはり自分の意見をお出しになります。ただ、座談的に話が進んでいくわけですが、なかなかまとまるのは難しいと思いました。

こういう形で長年来て、今後もやっていくということに疑問を感じました。

これはほかに方法がないかといったら、身近にあります。このような形ではなく、優秀な方がそろっていらっしゃるわけですから、今まで出席なさった方の中から客観的にいろいろな意見をおもちになる方、この施設の発展に意見を出せる方、いろいろいらっしゃると思うのです。そういう方をいろいろな会議からたどり、私が希望したいのは、推進委員会をつくってほしいです。そして、そちらのほうでテーマを出して、委員会をもとにして検討していただいて、実行に入る。これが一番スムーズに、確実に行く方法ではなかろうかと思います。それぞれ意見をもって集まって言い合いをしていますが、それを繰り返すようになるのではなかろうか。そんな感想を持ちました。私の考えは短いかもしれませんが、委員会をつくられたほうが楽です。力を出していけるとは思いますが、いかがでしょうか。つくるお気持ちがおありでしょうか。

○M

理事会、評議員会ってそのためにあるのですよね。

ここの文化会館たづくりの理事会、評議員会というのが選ばれた市民とこちらの職員とで、そういった委員会があります。

○K

あるのですか。

○M

はい、あります。今、その傍聴をすべきではないかということで参加者から意見が出ています。

○K

そこについては、私は今回初めて来たからわからなかったのですが、こちらの方々もその委員会に入っているのでしょうか。

○M

入っています。

○K

その会合を年に何回かもっているわけですか。

○神戸総務課長

はい、そうです。

○K

それはどんどん決議をとっていらっしゃいますか。

○神戸総務課長

はい。

○K

司会が曖昧だったら決議ができず、物事は進みません。そういった評議員会があるのであれば、そこでしっかり決めて、司会者を決めて、議事をとって、決議して実行に入ってほしいです。

○神戸総務課長

理事会、評議員会の方でしっかりとしたテーマを定め、きちんと年度計画をつくって進めているところでございますので、この言い方が正しいかどうかわかりませんが、それにつきましてはご安心いただければと思います。

ほかにご意見等はございますか。

○F

あと3件あります。市民カレッジの日程を変える場合、当初予定していた日には参加できるが、変更した日には参加できなくなったという受講者には、先ほどの話なのですが、受講料を返すべきだということです。前回、西原さんのシューベルトの話で、急に日程が変わったわけですが、そのときの通知に、受講できない人のための代講はいたしませんし、受講料の返却もいたしませんという非常に一方的な通知になったわけです。受講者そのものは予定した日で受講できるということで申し込んでいるわけですから、当然、予定が急に変わって受講できなくなった場合には、受講料を返しませんということはいうべきではないと思います。その日の分は返すべきだと思います。

それから、市民カレッジの日程は、重複がないように設定してもらいたいです。

今回、西原さんの講座と芸大の薩摩先生の講座が重複し、残念ながら、私は西原さんの講座は諦めたのですが、当初からスケジュールをつくるときに重複がないように調整してほしいです。いろいろな手はあると思います。ぜひやってもらいたいです。

それから、市民カレッジの講師へのあいさつですが、これは以前から、講座が始まった日の最初、それから講座が終わったあとに、財団の課長以上が講師に必ずあいさつをしたほうがいと推奨し、以前の事務局長のときから、きちんと励行していました。今回、西原さんの講座のときにどなたもあいさつなさらないので、どうしたのかといたら、今、

会議をやっておりますと担当者が私に対して説明しました。社内会議ではの際は少し席を外し、お世話になる講師の最初の日、それから最後のときぐらいはあいさつをすべきだと私は思います。それが礼儀だと思います。担当者任せでいいとは思いません。

○徳永たづくり事業課長

今3点いただきましたので、1点ずつ回答させていただきたいと思います。

1点目の前期の講座におきまして、日程の変更があった件につきまして、今、お話の中におきましては、一方的な通知であったという内容でございます。こちらがそのはがきの写しでございますが、見る限り、下段のほうに受講料の返還はございません、代講日はございませんということが書いてあります。上のほうにつきましては、そのことに関するお話をさせていただいているところでございます。

このことにつきましては、料金をお支払いいただくカレッジでございますので、まず、こちらの受講のご案内を差しあげているところでございます。そちらのご案内の中に講座内容、こちらは1回目から8回目と書いておりますけれども、その下段に講座内容は予定ですと記載しています。また、都合により日程等が変更になることがありますということに記載させていただいています。今回のような形で先生がどうしても日程を変更してほしいということもございます。過去にもこのようなカレッジにおきまして日程を変更することがございましたので、このような形で皆様にご案内させていただいているところでございます。

そして、次に、受講料の納入についてという通知を差しあげております。受講料の返金についてのご案内も差しあげておりまして、納入された受講料は返金いたしませんとさせていただいております。今回のカレッジにつきましても返金は考えておりませんので、よろしく願いいたします。

そして2点目、今回、1つの曜日が重複した講座がございました。この両講師は、私どもの講座においても非常に人気のある講座で、この先生にぜひやっていただきたいと日程を調整いたしました。しかし、その中でどうしても1日だけ重なってしまいました。この1日が重なったことでやめるべきなのか、1日だけならできるのかと私どもの中でも議論があった中においては、やはり人気のある先生にお越しいただきたいということになりました。結果としてどうしても1日だけ重なってしまったという現状がございます。今後、これまでもそうですが、なるべく重複しないようにやっているところでございますが、どうしてもこのようなケースがあることはお含みおきいただきたいと思っております。

3点目、最後、あいさつにつきましては、先日も土曜日に講座がありましたけれども、講師控室であいさつをさせていただいております。現在も事務局長と私でやらせていただいているところでございますので、ご報告いたします。

○F

日程の変更はわかります。それに書いてあると私も十分承知しています。返金いたしませんということも承知しています。ただ、予定していた日を変えて、そのままでもいいのかというのは、私は少し疑問に思います。

○神戸総務課長

それでは、今ご意見いただいたところでございます。特にご意見等なければ、これにて閉会させていただきます。

○K

次回はいつごろになりますか。

○神戸総務課長

後ほどご案内申し上げます。

では、特になければ、こちらはこれで締めさせていただきます。本日は貴重なご意見等いただき、ありがとうございました。今後、たづくり、グリーンホールの運営に活かしてまいりたいと存じますので、よろしく願い申し上げます。また、今後、何かお気づきの点などございましたら、7階事務室等にどうぞお声がけいただければと思います。

また、次回の利用者懇談会でございますが、こちらにつきましては、6月に開催を予定いたしております。日程につきましては、ホームページ、財団報「ぱれっと」でお知らせしてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

○F

バレエへの招待のアンケートの件は、生活文化スポーツ部の意見として、八田部長の回答に変わりありませんか。アンケートにはどこにも書いていませんが、それでもアンケートに出しましたと言い張るのでしょうか。これは財団の方も生活文化スポーツ部の方もそれでいいということですか。そういった設問はどこにも書いていません。それでもやったということでもいいですか。

○神戸総務課長

本日の懇談会は閉会しました。Fさんのお尋ねにつきましては、この場にて後ほどとさせていただきます。

では、利用者懇談会につきましては、これをもちまして閉会とさせていただきます。本日は長時間ありがとうございました。

—了—